

【島根県松江市】令和3年度 重層的支援体制整備事業

1. 概要(R3.4 末現在)

- 人口 199,967 人
- 世帯数 91,139 世帯
- 高齢化率 29.9%
- 面積 572.99 km²

2. 重層的支援体制整備事業に取り組んだ背景・課題や、取組の理念

- 住民の抱える生活、福祉課題は複雑化、複合化してきている。そのニーズに対応するため、相談支援体制の強化を図る。
- 住民のより身近なエリアでの相談支援体制の構築を目指す。
- 住民が主体的に地域課題を把握し、解決を試みることができる体制を維持していく。
- 市役所内の体制
〔とりまとめ〕 福祉総務課
〔関係課〕 高齢者…健康政策課、介護保険課
障がい者…障がい者福祉課
児童…子育て政策課、子育て支援センター
生活困窮…生活福祉課、福祉総務課
共通分野…福祉総務課
- 多機関協働事業、アウトリーチ等を通じた継続的支援、参加支援事業の実施を松江市社会福祉協議会へ委託

3. 主要な取組事項

・「相談支援」に関する体制・取組の内容

- 地域包括センターを中心に分野を問わない総合相談窓口として、「ふくしなんでも相談所」を設置(松江市社会福祉協議会)

「ふくしなんでも相談所」等で受けた相談の中、複雑化・複合化した課題を多機関協働事業につなぎ、課題の解きほぐしを行う。

- より身近な場所での相談支援体制の構築をめざし、「ふくしなんでも相談所サテライト」の設置に向け、市内の社会福祉法人とともに取組を進めている。年内の開催に向け、賛同を得た 19 社会福祉法人と、一定の相談水準を確保するための研修内容について調整を行っている。

・「参加支援」に関する取組の内容 [松江市社会福祉協議会に委託]

- ひきこもりなど社会的参加の場のない方などへ社会とのつながりづくりを支援
- 社会参加の機会を創出するため、企業や法人に対し、社会参加の場の提供等の協力が可能かどうかのヒアリングととりまとめを行い、定着支援のための働きかけを行う
- 本人のニーズと社会参加の場との間の調整を行い、就労体験につなげている。

・「地域づくり支援」に関する取組の内容 [松江市社会福祉協議会や社会福祉法人等に委託]

- 地区社協が行う、住民が主体的に地域課題を把握し、解決を試みることができる体制を構築することに対し支援。「すこやかライフ推進事業」として地域の見守りのネットワークづくりや、世代や属性を超えた居場所づくりを進めている。

重層的支援体制整備事業（全体）

